

各 位

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社
 代 表 者 取締役社長 会 田 仁 一
 (コード番号 6 1 1 8 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役 上席執行役員 管理本部長 増田 健
 (TEL. 042 - 772 - 5231)

(訂正・数値データ訂正)

「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 26 年 5 月 13 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、記載内容の一部に訂正すべき箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の内容

サマリー情報 「(3)連結キャッシュ・フローの状況」

(訂正前)

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
26 年 3 月期	百万円 5,978	百万円 <u>△3,054</u>	百万円 26	百万円 <u>26,238</u>
25 年 3 月期	5,938	△1,277	△1,446	22,281

(訂正後)

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
26 年 3 月期	百万円 5,978	百万円 <u>△3,254</u>	百万円 26	百万円 <u>26,038</u>
25 年 3 月期	5,938	△1,277	△1,446	22,281

3 ページの「②キャッシュ・フローの状況」

(訂正前)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比べ 3,956 百万円増加し、26,238 百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により取得した資金は 5,978 百万円（前連結会計年度は 5,938 百万円の収入）となりました。主な要因は、収入として税金等調整前当期純利益 6,579 百万円、減価償却費 1,548 百万円、たな卸資産の減少 2,135 百万円、支出として売上債権の増加 3,331 百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は 3,054 百万円（前連結会計年度は 1,277 百万円の支出）となりました。主な要因は、支出と

して有形及び無形固定資産の取得 2,567 百万円、定期預金の預入 432 百万円であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により取得した資金は 26 百万円（前連結会計年度は 1,446 百万円の支出）となりました。主な要因は、収入として短期借入による収入 941 百万円、自己株式の売却 320 百万円、支出として配当金の支払額 1,217 百万円であります。

(訂正後)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比べ 3,756 百万円増加し、26,038 百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により取得した資金は 5,978 百万円（前連結会計年度は 5,938 百万円の収入）となりました。主な要因は、収入として税金等調整前当期純利益 6,579 百万円、減価償却費 1,548 百万円、たな卸資産の減少 2,135 百万円、支出として売上債権の増加 3,331 百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は 3,254 百万円（前連結会計年度は 1,277 百万円の支出）となりました。主な要因は、支出として有形及び無形固定資産の取得 2,567 百万円、定期預金の預入 432 百万円であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により取得した資金は 26 百万円（前連結会計年度は 1,446 百万円の支出）となりました。主な要因は、収入として短期借入による収入 941 百万円、自己株式の売却 320 百万円、支出として配当金の支払額 1,217 百万円であります。

4 ページの「2. 経営方針」

(訂正前)

(2) 目標とする経営指標

今年度より新たに開始した中期経営計画において、売上高 800 億円以上、営業利益率 70 億円以上を達成することを目標に掲げ、・・・・・・・・

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、長期的に形成システム分野で世界の「トップランナー」となることを・・・・・・・・

(訂正後)

(2) 目標とする経営指標

今年度より新たに開始した中期経営計画において、売上高 800 億円以上、営業利益 70 億円以上を達成することを目標に掲げ、・・・・・・・・

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、長期的に成形システム分野で世界の「トップランナー」となることを・・・・・・・・

11 ページ「(4) 連結キャッシュ・フロー計算書」

(訂正前)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,015	6,579
減価償却費	1,362	1,548
減損損失	49	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△2
固定資産除却損	2	159
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	95	253
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	20
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	411	118
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△194	△137
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	114
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	49
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△248	33
受取利息及び受取配当金	△102	△150
支払利息	58	39
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,115	△3,331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	734	2,135
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,165	△810
その他の資産の増減額 (△は増加)	△319	△513
その他の負債の増減額 (△は減少)	417	274
その他	48	100
小計	6,361	6,444
利息及び配当金の受取額	102	150
利息の支払額	△58	△39
法人税等の支払額	△466	△577
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,938	5,978
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,399	△2,003
有形固定資産の売却による収入	199	68
無形固定資産の取得による支出	△38	△563
無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△50	△200
投資有価証券の売却による収入	—	74
定期預金の預入による支出	—	△432
定期預金の払戻による収入	8	—
その他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,277	△3,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	941
短期借入金の返済による支出	△535	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△141	△16
自己株式の売却による収入	124	320
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△893	△1,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,446	26
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	1,006
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,148	3,956
現金及び現金同等物の期首残高	17,129	22,281
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の期末残高	22,281	26,238

(訂正後)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,015	6,579
減価償却費	1,362	1,548
減損損失	49	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△2
固定資産除却損	2	159
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	95	253
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	20
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	411	118
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△194	△137
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	114
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	49
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△248	33
受取利息及び受取配当金	△102	△150
支払利息	58	39
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,115	△3,331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	734	2,135
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,165	△810
その他の資産の増減額 (△は増加)	△319	△513
その他の負債の増減額 (△は減少)	417	274
その他	48	100
小計	6,361	6,444
利息及び配当金の受取額	102	150
利息の支払額	△58	△39
法人税等の支払額	△466	△577
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,938	5,978
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,399	△2,003
有形固定資産の売却による収入	199	68
無形固定資産の取得による支出	△38	△563
無形固定資産の売却による収入	—	0
有価証券の取得による支出	—	△200
投資有価証券の取得による支出	△50	△200
投資有価証券の売却による収入	—	74
定期預金の預入による支出	—	△432
定期預金の払戻による収入	8	—
その他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,277	△3,254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	941
短期借入金の返済による支出	△535	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△141	△16
自己株式の売却による収入	124	320
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△893	△1,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,446	26
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	1,006
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,148	3,956
現金及び現金同等物の期首残高	17,129	22,281
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の期末残高	22,281	26,038

2. 訂正の理由

「平成 26 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に記載誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

以上